



衆議院議員 党静岡県連会長・党政務調査副会長

# 田中けん

初当選から質問・討論 トップクラス!

# 140回超突破!

今回の国会  
質問回数 **44回**

初当選から  
**TOTAL 143回**



質問詳細は  
HPをご覧ください

<https://tanaka-ken.jp>



## VS 総理大臣

- **選挙妨害行為** への早急な対応求める  
適正な選挙は民主主義の根幹。有権者の正しい選択のためにも、法改正など環境整備を働きかけました
- **子ども子育て支援金** は現役世代に重くのしかかるステルス増税だと反対表明
- **ライドシェア** は慎重に、公共交通を守る議論を
- **政治資金規正法** 改正案の抜け穴を指摘

抜け穴オンパレード **あいた口がふさがらない!**

## 「政治資金規正法」に反対討論!

自民党派閥の裏金問題に端を発するものであったのに、問題の真相はなんら明らかにされていません。これでは再発防止として十分な内容が判断がつかません。これで国民に説明責任を果たしたと言うのでしょうか。二階さんの50億円で問題となった「政策活動費」。今回の修正は、領収証の公開が10年後、不正が発覚しても時効が5年で罪にも問えない。その制度がこれから検討だと言うのですから、あいた口がふさがりません。永田町の常識は国民の非常識の極みです。国民民主党は、複雑な仕組みにすればするほど抜け穴はできるため、政策活動費は廃止としており、昨年からの支出をやめています。「非課税かつ非公開の資金はなくす」これが我が党の基本姿勢であり、非課税の恩恵を受けたいなら用途を「完全公開」すべきです。

## VS 厚生労働大臣

- 障害者福祉予算の増額
- 訪問介護事業を守れ
- 困窮者のすまい保障を
- スポーツ賭博・依存症対策
- 改正雇用保険法でパートも加入
- 漬物製造規制見直しを 漬物文化を守る
- マイナ保険証義務化反対
- 育児介護休業法を進めるために



## VS 法務大臣

- 育成就労支援制度
- 外国人労働者の人権保障と地域労働市場のニーズが両立するのか



## VS 経済産業大臣

- ゼロゼロ融資対策
- スポーツ産業の成長産業化で地域・障害者スポーツへ還元する仕組みを



## VS 総務大臣

- 消防団団員不足対策～訓練内容見直し、協力金寄付金のあり方
- LINEの情報漏洩再発防止



## VS 地域再生大臣

- 地方分権は進んだのか? 地方創生10年の総括を
- 生産緑地の税制優遇、今後のあり方について



## VS 官房長官

- スポーツ振興・ビジネス拡大へ



## VS 少子化担当大臣

- 少子化対策は若者の低所得対策
- 産後ケア事業の充実と拡大
- 子育て版ケアマネジャーの創設
- 子どもを性犯罪から守る「日本版DBS法案」
- 健康保険料に上乗せする「支援金制度」は反対
- ヤングケアラー支援法で切れ目のない支援を



## VS デジタル大臣

- デジタル化の地方・高齢者対策
- マイナポータルのあり方
- デジタル小作人について
- オンラインカジノ取締強化について



現役世代に負担を強いる財源確保にNO!

国民置き去りのDX議論に喝!

# 命を守る!

## ○能登半島地震視察・公聴会

液状化被害を受けた内灘町、1.5次避難所として使われてきた総合スポーツセンターを視察。馳石川県知事、川口内灘町町長などにお越しいただき、高齢者・仮設住宅・ボランティア等の課題を議論しました



### VS 防災担当大臣

●南海トラフ基本計画に能登半島地震の教訓・新想定を加えよ

### VS 文部科学大臣

●地震予測地図に海底活断層の危険想定を加えよ

### VS 国土交通大臣

●地震地域係数の見直し・廃止を

### ●災害時「病院船」活用を 超党派で総理に要望!



能登半島地震の対応でも明らかになったように、海からのアプローチの重要性から、超党派で、災害時に海上で医療等できる「病院船」の整備に必要な予算確保など総理に要望しました。総理も必要性を了承されました。

### ●えん罪のない社会を目指して!

超党派で再審法改正を求める要望書を法務大臣に提出しました。えん罪は最大の人権侵害で、速やかに救済することが国の責務です。最後の救済制度、再審は確固たる手続きの整備が必要です。



## 国民民主党田中けんの提出法案

- 防犯・防災** 被災者生活再建支援法改正案
- 安全保障** サイバー安全保障法案
- 生活支援** 再エネ賦課金停止法案
- 防犯・防災** 自動車盗難対策法案・組織犯罪厳罰化法案
- 教育・子育て** 教育国債法案
- 政治改革** 政治資金規正法改正案
- 生活支援** シン・トリガー条項凍結解除法案
- 職場環境** カスタマーハラスメント対策法案
- 教育・子育て** ダブルケアラー支援法案

## 中小企業・非正規雇用等の賃上げ応援10策を提言

- 1 社会保険料負担軽減
- 2 消費税減税・インボイス廃止
- 3 ガソリン代・電気代・ガス代値下げ
- 4 賃上げ減税拡充
- 5 医療・介護・保育従事者の賃上げ
- 6 適正な価格転嫁
- 7 農林水産分野の支援拡充
- 8 下請法・独占禁止法の実効性強化
- 9 人手不足対策・育成支援
- 10 年収の壁対策

## エネルギー高騰&熱中症対策 「緊急家計応援プラン」を提出

### 家計等応援プラン

- 1 熱中症予防手当5万円支給(夏季期間/低所得者向け)
- 2 再エネ賦課金徴収停止、再エネ賦課金の在り方の抜本的見直し、年度内に具現化
- 3 ガソリン減税(シン・トリガー条項凍結解除&暫定税率廃止)
- 4 基礎控除、給与所得控除引上げ(1995年以降、103万円継続)
- 5 地方創生交付金による夏期の水道料金減免

### 熱中症対策

- 1 能登半島地震すべての避難所、仮設住宅等へのエアコン設置
- 2 公共・商業施設等の「クーリングシェルター」の指定促進と周知
- 3 熱中症警戒アラートのわかりやすい発信と高齢者等への周知、熱中症対策徹底
- 4 (公立)小中高校の体育館への冷暖房整備交付金の補助率引上げ

## 地元の声を国へ。 清水・富士宮・富士の課題解決に全力を尽くす!

### 富士川は今



12,000筆を超える署名を山梨県の日本軽金属株式会社に届けて来ました。富士川に設置された河川環境保全のための「維持流量」をいち早く実現してください!という署名。美しい富士川の環境を次の世代に引き継いでいくためには、皆が力を合わせていかなくてはなりません。私たちの未来への責任です。

### 富士川かりがね橋開通



渋滞解消、富士川流域地域の活性化、南海トラフ大地震への備えなど大きな効果が期待されています。今回繋がった岩本と木島は、古代から江戸時代前期まで東海道が通っていた場所であり、富士川に至っては日本書紀にも記述が出てくる由緒ある川です。未来の架け橋になるよう皆で盛り上げていきたいと思ひます。

### 富士宮市「家康公用水発電所」お披露目会

デザイン性を誇る水力発電所に生まれ変わりました。水は、昨年世界かんがい施設遺産に登録された北山用水を利用しています。富士宮市は、富士山の湧水に恵まれ、小水力発電が発電所の箇所数と最大発電出力の合計がともに日本一のまちです。もっとアピールしましょう!



祝 しずさんアクアエナジーパーク 清水市立水産総合センター

### 清水港日の出岸壁改良工事完成



日の出埠頭にクルーズ船、貨物船の二隻同時着岸が可能となります。昨年8月に過去最大のクルーズ船ボイジャー寄港の際には清水港會さんの歓迎セレモニー御興渡御に参加し、大いに楽しみました。清水港を中心とした清水の賑わいを、今後益々創っていきたく思ひます。

## 静岡県知事選挙・県議補欠選挙(清水区)応援ありがとうございました。~国と県、連携して頑張ります~

### 鈴木康友 静岡県知事

15年ぶりの静岡県政リーダーが決まりました。350万人超の県民はリニアやドームのみならず生活、雇用、子育て、教育、医療など身近な公約や政策で選ばれたと思ひます。国民民主党は、国会議員や市長をつとめ、政治、議会、行政に精通し、これまで300社以上の企業・ベンチャーを静岡に誘致した鈴木康友新知事を連合静岡・ふじのくに県議団・立憲民主党と自信持って応援しました。新しい静岡県をともに創って参ります。



### 山田新 静岡県議会議員

地元生まれ地元育ち(清水小→三中→清水東高校)、大阪府立大学を卒業し、東京で監査法人・IT企業に勤めた後、清水に戻り税理士・公認会計士事務所を経営しています。これまでは税理士の立場で、現場の声を聞かせてもらって来ました。清水の中小・零細企業の経営者に寄り添い、働く人たちの悩みを聞いて来たその経験を、是非とも県政に活かしてもらいたいと思ひます。



衆議院議員

# 田中けん

ご意見ご要望は

プロフィール

1977年 旧富士川町生まれ  
【学歴】 静岡県立富士高等学校卒業  
青山学院大学経済学部卒業  
【職歴】 第一勧業銀行  
大田区議1期・東京都議2期  
【家族】 妻・息子



田中けん



Email shizuoka4ku.tanaka@gmail.com

清水 〒424-0872 静岡市清水区平川地6-50  
TEL 054-340-5256 FAX 054-340-5257

富士宮 〒418-0054 富士宮市光町8-8-2F

国会 〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 712号室  
TEL 03-3508-7190 FAX 03-3508-3620